



益建第425号
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 様

益子町長 大 塚 朋 之



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたことにつ
きまして、別紙のとおり提出いたします。

「今後の道路行政について」 の意見・提案

平成20年10月23日

国土交通省道路局長 様

益子町長

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

栃木県益子町

私たちが毎日利用している道路の環境は路線全てが安全かつ快適に走行できるのではなく、それでも交通手段を道路に頼わざるを得ない町民にとって整備を待ち望んでいます。

町民も厳しい町民の財政状況は理解しており手づくりにより協働のまちづくりに取り組んでおりますが、より良い道路整備の推進に向け下記の項目について切に要望するものであります。

〔要望事項〕

1. 「主要地方道つくば益子線」バイパス整備は、町産業振興にとっても地元はもとより全町的に期待されているため早期完成を望んでいます。

2. 町内の交通事故は道路環境もひとつの要因となっているため、安心に通れる道路整備のためにも補助・交付金制度は堅持していただきたい。

3. 道路財源は遅れている地方の道路整備のために優先かつ重点的に配分していただきたい（道路特定財源を一般財源化することは反対です）。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

栃木県益子町

【現状】 当町は402路線の町道を中心として生活路線を形成しているが、総延長が約299km、改良率は68.7%、舗装率は82.1%の状況でここ数年間の道路整備予算は減少し、今年度には待望であった北関東自動車道の真岡インターと隣の桜川筑西インターが開通しているが当町までのアクセス道路は通行量がかなり増加している。また、全国各地から年間160万人の観光客は主に自動車を利用して来訪しているため、町の観光資源を活用した積極的な取り組みが必要とされている。しかし、当町は自然な里山を親しみながら安全に行き渡ることができる周遊観光道路がない状況です。	【課題】 未整備路線も多く自動車を利用して来訪する観光客のためにもネットワークで連なる道路・歩道整備が望まれているが町財政も厳しいため、財源確保が必要である（歩道は2m程度でも良いので延長が必要）。また、平成元年度には都市計画法に基づく都市計画道路は決定はしているものの実情にそぐわないため、最新の社会資本の整備に合った見直しが必要とされている。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②—２ 地域の目指すべき将来像

栃木県益子町

当町は自然豊かな大地に恵まれ、農業と陶芸を中心とした産業の活性化に向け町民・訪問客が笑顔あふれる愛されるまちづくりを目標に

『創造の器』に未来かがやく益子町

～みんなで築く手づくりのまち～

を住民と行政が協働で町の特性を伸ばし課題を改善しながら将来像を目指していることから、町民の生活に欠かせない道路は「人にやさしい」、「災害に強い」、「環境にやさしい」、「わかりやすいサイン誘導」など配慮し整備することで安全な町の道路環境が達成される。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

1 / 2

栃木県益子町

【重点事項】	【代表事例】	【期待する効果や評価等】	【その他】
特産品の振興と地域活力の向上	バイパス道路整備を機会に 〔道の駅的な産地情報の発信施設整備〕 ・町内にはJ Aや個人が営むいくつかの農産物直売所があり、朝取り野菜や手づくり製産物が販売、消費の新鮮で安全な産物が小規模、併売されているが情報発信源も併売された地域資源を活かし情報発信施設の整備が望まれている。	【期待する効果や評価等】 ・今年3月開通した北関道桜川築西イオンセンターが利用された観光客は今後当数が見込まれるや町の南の玄関口として地域の交流のバイパス道路の振興に期待が寄せられ産業の発展のため、都市と町との産物交流の場が生まれるため、農産物を産地活性化によるまちづくりが期待できる。（道の駅的な施設の整備も検討されている。）	

今後の道路行政についての意見・提案

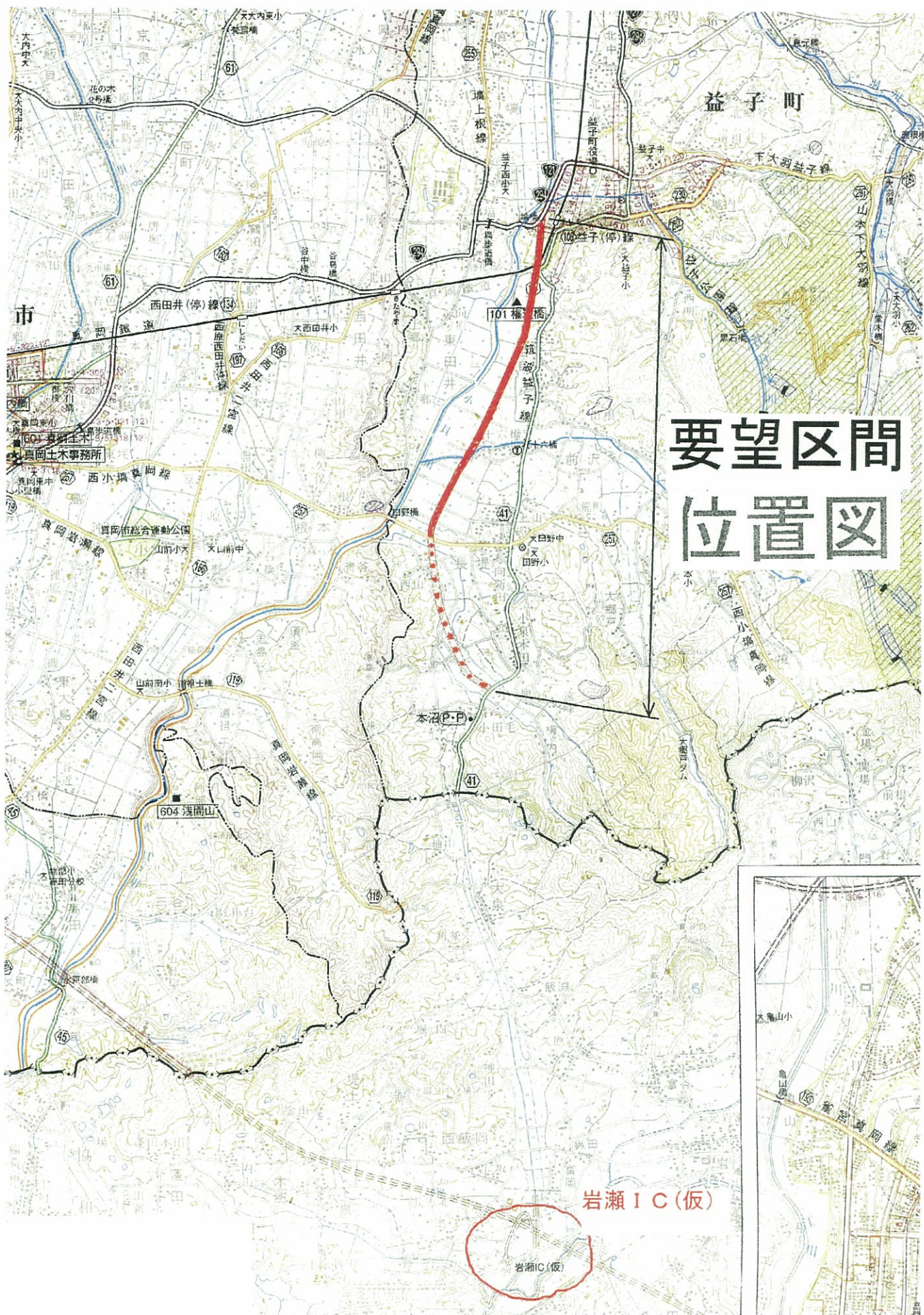
③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

2 / 2

様式 ④

栃木県益子町

【重点事項】	【代表事例】	【期待する効果や評価等】	【その他】
観光の振興と地域交流の活性化	〔当町の城内坂通り〕 ・車道と歩道が整備され安全安心に利用できる個性豊かな活路がある。	・陶芸「益子焼き」を中心とした観光スポットと町並みを継続して散策したいという意向があつたため、安全で周遊のできるネットワーク型道路を整備することで滞在型の観光事業が見込まれる。	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化		・主要道路は大型車をはじめ高齢者の交通量が大きく、子供や高齢者が利用するに危険なため、歩道が整備されることで安全な利用が期待できる。	



要望区間 位置図





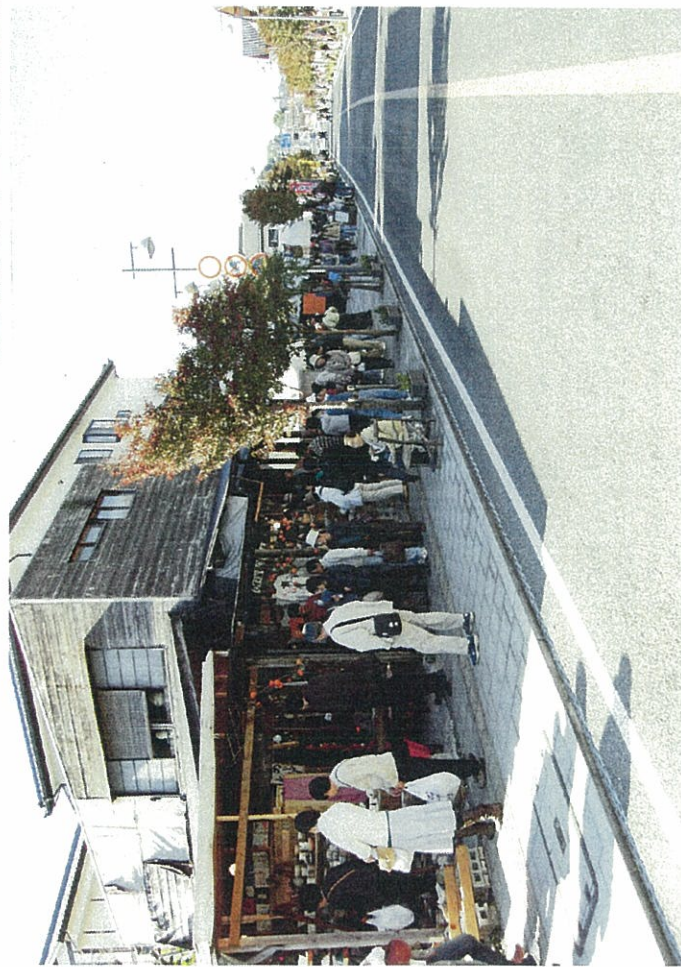
現道「主要地方道つくば益子線」





バイパス計画された現在の道路状況





整備された沿道型都市計画道路

